

⑨緑化の推進

- ・快適な生活環境をめざし、住宅地における生垣などによる宅地周辺の緑化、商業地における駐車場の緑化、空地等における緑化、幹線道路における街路樹の整備、工業地における緩衝帯としての工場周辺の緑化、農業地域においては遊休農地等におけるコスモスなどの景観作物の栽培、公共施設等における緑化など、市民と行政の協働により緑化の推進を図ります。
- ・地域の特性に応じて効果的な修景や環境改善等を図ることができるよう、緑化の方法、樹種の選定などに配慮していきます。

2 レクリエーションシステムの配置方針

◇多様化するレクリエーション需要、自然とのふれあいに対する需要に対応し、日常的、非日常的なレクリエーション活動などに適切に応える緑地の配置方針を設定します。

①身近なレクリエーションの場の確保

- ・市民の身近なレクリエーションの場である都市公園（住区基幹公園）については、誘致距離や将来的な人口密度などを考慮しながら、現在、都市公園が不足している地域などを中心に、適正な規模や形態で計画的に配置します。また、あわせてレクリエーションの利用効果を高め、安全・安心に歩いて行けるようにするため、公園相互を連絡する街路樹の整備、緑道の設置、河川沿いの遊歩道の設置などにより緑を有機的につなぎネットワーク化を図ります。
- ・地域住民のコミュニティ拠点となる街区公園等は、子どもや高齢者などのニーズに対応した公園の整備に努めます。

②広域的なレクリエーションの場の確保

- ・市民の多様なレクリエーションの需要に対応できるよう、総合公園の整備や運動公園の充実など、都市基幹公園などの施設緑地の計画を検討します。
- ・グラウンド・芝生広場、スポーツ・屋外レクリエーション施設については、地域スポーツの振興と市民の健康増進を図る施設として、需要を勘案しながら民間施設緑地も含めて均衡ある配置を図ります。
- ・既存のレクリエーション施設については、緑地の保全に努めるとともに、緑化の充実を図ります。
- ・観光交流を推進するための魅力づくりとして、四季折々の花や樹木などの植栽の推進を図ります。

③自然とのふれあいができる場の確保

- ・良好に整備や維持管理がされた樹林地や市街地に点在する農地などは、市民が身近に自然とふれあうことができる場となることから、その適正な保全に努めるとともに、市民緑地や市民農園などの施設緑地として整備と適正な配置を検討します。

3 防災システムの配置方針

◇災害の防止や災害時における避難地、避難路、都市公害の緩和などの防災機能を適切に果たすことができる緑地の配置方針を設定します。

①自然災害の防止

- ・水害の発生の恐れのある地域や崖崩れ、地すべり等などの危険性が大きい地域、また土砂の採取場などでは、災害を防止あるいは緩和する役割を担う緑地が減少しており、保水機能や遊水機能を果たすため、積極的に樹林地、農地、ため池などの緑地の保全と適正な維持管理を図ります。

②市街地の騒音・延焼の防止

- ・緑地や街路樹を配置し、市街地内の延焼防止を図ります。また、市街地においては、河川が延焼防止に大きな役割を果たすことから、河川空間の緑化を図るとともに、避難路として機能させられるように遊歩道の設置を検討します。
- ・工場については、快適な生活環境を保全するために、周辺緑化が図られています。これらの緑地の充実を図るよう緑化を促進していくとともに、周辺の道路や樹林地、農地などを緩衝緑地として緑地の整備・保全を図ります。
- ・輪中地帯や河川流域では、堤防の維持管理を強化するとともに、遊水機能、貯水機能を果たす農地などの緑地の保全を図ります。

③避難地・避難路の確保

- ・災害時の一時避難場所として、身近な空地である街区公園などの住区基幹公園を位置づけ、歩いて行ける範囲内などの誘致距離を考慮して配置するとともに、防災面に配慮した公園の整備に努めます。
- ・学校などの避難所に指定されている公共施設と避難場所となる公園等では、延焼防止に効果のある常緑樹を主とした植樹を行い、防災機能の充実を図ります。
- ・広域防災拠点や広域避難地などとして大規模な公園（都市基幹公園）を位置づけるとともに、広域防災拠点等として、避難地としての機能のほか、物資集配、救援、ボランティア活動等の拠点としての機能が果たせるよう整備を図ります。
- ・避難路となる幹線道路には、延焼を遮断できるよう耐火性・防火性の優れた常緑樹による緑化を推進し、災害時における安全性の確保を図ります。
- ・市街地に隣接する農地や市街化区域内の生産緑地地区は、災害時において一時避難場所や延焼防止等の役割を果たすため、地域制緑地として位置づけ適正な保全を図ります。
- ・避難地・避難路等の周辺施設には延焼防止を図る緑地を配置するとともに、広幅員の道路や河川の緑化、農地や樹林地の保全を図り、広域防災帯の配置を検討します。
- ・住宅地においては、避難時のブロック塀の転倒による事故を未然に防ぐため、生垣緑化の促進を検討します。